

第32回栗東市中小企業振興会議（書面開催）

書面決議結果と意見に対する事務局回答

令和4年3月2日に開催予定であった第32回栗東市中小企業振興会議は書面による開催をいたしました。書面での決議結果と委員の皆様からのご意見に対する事務局回答を取りまとめました。

書面決議書結果

報告事項	意見の有無	
(1) 商工振興ビジョン後半期ロードマップに係る進捗状況について（資料1）	あり：0	なし：10
(2) 市内経済に及ぼす新型コロナウイルス感染症の影響等について（資料2）	あり：0	なし：10
(3) 今年度の主な実施事業の進捗状況について（資料3）	あり：0	なし：10
協議事項	確認結果	
(1) 新年度の主な実施事業の概要（案）について（資料4）	賛成：10	反対：0
(2) 令和4年度中小企業振興会議のスケジュール（案）について（資料5）	賛成：10	反対：0
(3) 中間評価に係る基本的な考え方（案）について（資料6）	賛成：10	反対：0

⇒協議事項については、全員賛成により事務局案にて最終決定をいただきましたことから、会議資料のとおり、各事業を実施していくとともに、次年度の会議について、各委員からご意見を出来る限りいただけるよう、適切に対応をしていきます。

意見に対する事務局回答

【協議事項】

(1) 新年度の主な実施事業の概要（案）について（資料4）

意見	事務局回答
●りっとう市内飲食店感染防止対策支援金事業については、市内飲食店の事業継続支援に繋がる事業である。支援金分の予算については、経済センサスの市内飲食店事業所数から200店舗分を確保しているが、店舗毎に給付を実施する場合、予算が不足するのではないか。	■予算の算定根拠としている H28 経済センサスの事業所数については、市内における飲食店の実店舗数を調査した数値であるため、予算の範囲内で対応できると考えていますが、調査時点から年数も経過していることから、飲食店の増加により予算が不足する場合は、補正予算措置などにより適切に対応をしていきます。

(3) 中間評価に係る基本的な考え方（案）について（資料6）

意見	事務局回答
●新型コロナウイルス感染症終息後に、以前のような状況に戻るのには難しい。過去の延長線上の計画の見直しは必要と考える。	■次年度は、中間評価を行う年度であり、実施事業の有効性や効果についてご意見をいただき、新型コロナウイルス感染症終息後の社会情勢、国・県等の政策動向等も踏まえて、実施事業の検討をしております。

【その他の意見】

意見	事務局回答
●新型コロナウイルス感染症の感染状況が変わらなければ、ZOOMによる開催も検討してはどうか。	■次年度における会議開催手法については、委員の直接対面によりご意見をいただきたいと考えておりますが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、各委員にインターネット環境など実際にオンラインによる会議に出席いただくことは可能かをお聞きし、会議開催手法の検討をしております。